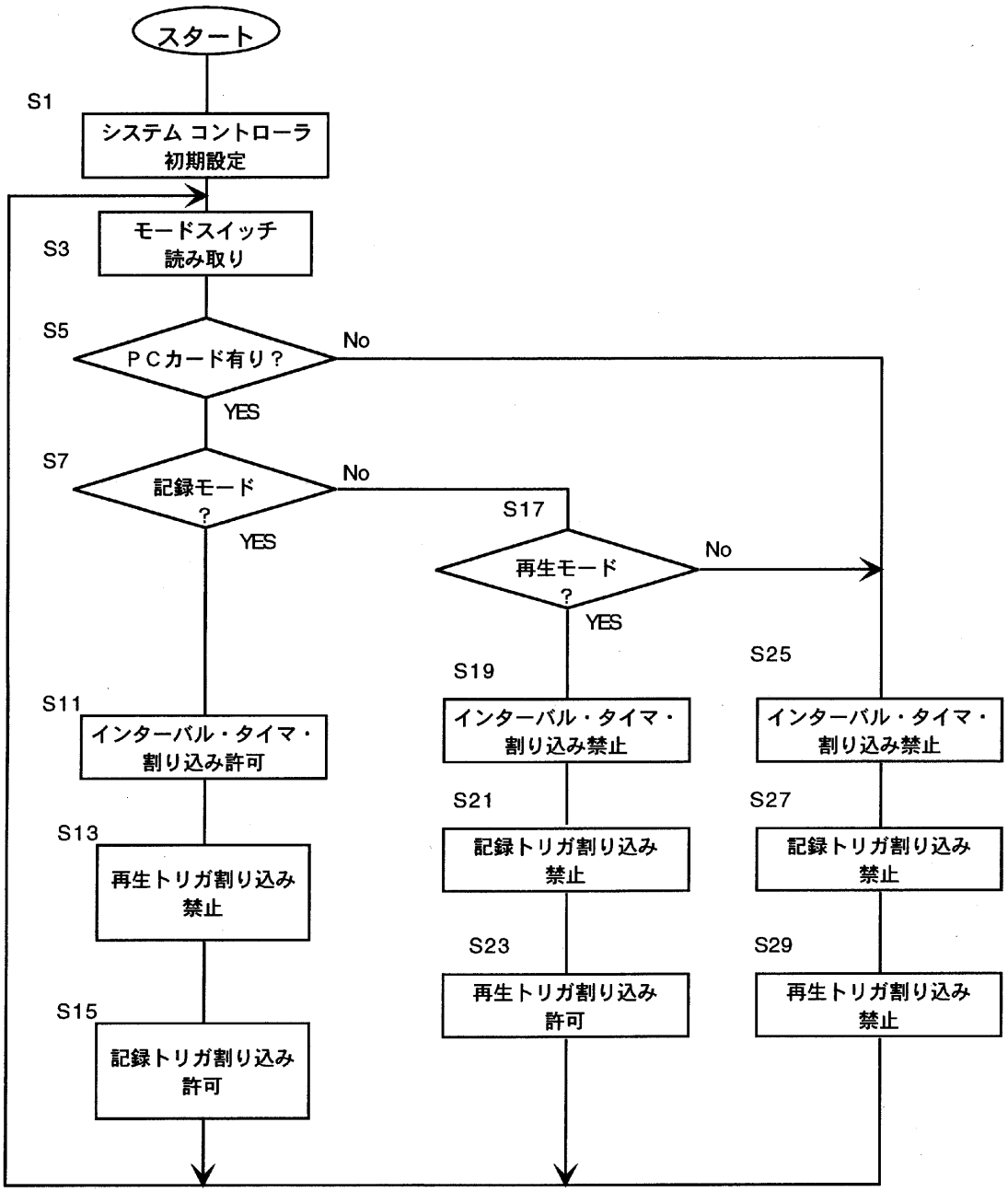
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2001-215548(P2001-215548A)
【公開日】平成13年8月10日(2001.8.10)
【出願番号】特願2000-23522(P2000-23522)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０３Ｂ　7/093
　Ｇ０３Ｂ　5/00
　Ｈ０４Ｎ　5/225
　Ｈ０４Ｎ　5/232
　Ｈ０４Ｎ　5/235
【ＦＩ】
　Ｇ０３Ｂ　7/093
　Ｇ０３Ｂ　5/00　　Ｈ
　Ｇ０３Ｂ　5/00　　Ｇ
　Ｈ０４Ｎ　5/225　　Ｆ
　Ｈ０４Ｎ　5/232　　Ｚ
　Ｈ０４Ｎ　5/235

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月15日(2005.6.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　自動露出モードとして、少なくとも通常プログラムモードと、この通常プログラムモードのときと比べて同条件下でより速いシャッタ速度が選択される高速シャッタ速度優先プログラムモードとを有するデジタルカメラであって、
　重力方向に対するカメラの姿勢を検出するカメラ姿勢検出手段と；
　カメラ姿勢検出手段が撮像時に検出したカメラの姿勢情報を、撮像した画像データと共に記憶する記憶手段と；
　自動露出モード時、カメラ姿勢検出手段が検出するカメラの姿勢情報が安定していないと判断したとき、該姿勢情報を無効とし、且つ高速シャッタ速度優先プログラムモードを選択する制御手段と；
を有することを特徴とする像振れ防止デジタルカメラ。
【請求項２】
　制御手段は、自動露出モード時にカメラ姿勢検出手段が検出するカメラの姿勢情報が安定していると判断したとき、自動露出モードとして通常プログラムモードを選択する請求項１に記載の像振れ防止デジタルカメラ。
【請求項３】
　制御手段は、自動露出モード時にカメラ姿勢検出手段が検出するカメラの姿勢情報が安定していないと判断して高速シャッタ速度優先プログラムモードを選択した後、カメラ姿勢検出手段が検出するカメラの姿勢情報が安定したと判断したときは、自動露出モードを通常プログラムモードに戻す請求項１に記載の像振れ防止デジタルカメラ。
【請求項４】

カメラ姿勢検出手段は、カメラの傾斜を検出する傾斜センサを有しており、
制御手段は、自動露出モード時は上記傾斜センサの出力を所定の周期で繰り返し検出し、上記傾斜センサの出力が安定していないと判断したとき前記カメラの姿勢情報を無効と判断する請求項１ないし３のいずれか一項に記載の像振れ防止デジタルカメラ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
図１２は、システムコントローラ３０により実行される本発明に係る制御処理を示すフローチャートである。カメラ１０の電源スイッチがオンされるとこの制御処理に入る。先ず、システムコントローラ３０の初期設定（カウンタＣ１～Ｃ４のクリア等）を行い、続いてモード設定ダイヤル２２の設定状況をチェックする（ステップＳ１，Ｓ３）。続いてＰＣカード３９の有無をチェックし、ＰＣカード３９が有るときは記録モードが選択されているか否かをチェックする（ステップＳ５，Ｓ７）。ＰＣカード３９が無いときはステップＳ２５に進む。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
記録モードが選択されていれば、インターバルタイマの割り込みを許可し、再生トリガの割り込みを禁止し、記録トリガの割り込みを許可し、その後ステップＳ３へリターンする（ステップＳ１１，Ｓ１３，Ｓ１５）。ステップＳ７で記録モードが選択されていないと判断したときは、再生モードが選択されているか否かをチェックする（ステップＳ１７）。
【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１２】


スタート
S1
システム コントローラ
初期設定
S3
モードスイッチ
読み取り
S5
ＰＣカード有り？
No
YES
S7
記録モード
？
No
YES
S17
再生モード
？
No
YES
S25
S19
インターバル・タイマ・
割り込み禁止
インターバル・タイマ・
割り込み禁止
S11
インターバル・タイマ・
割り込み許可
S21
記録トリガ割り込み
禁止
S27
記録トリガ割り込み
禁止
S13
再生トリガ割り込み
禁止
S23
再生トリガ割り込み
許可
S29
再生トリガ割り込み
禁止
S15
記録トリガ割り込み
許可